

令和5年2月3日

瀬戸市議会議長
水野 良一 様

(陳情者)

瀬戸市

資源物集積所の拡充（1,000か所から1,500か所以上）を求める陳情書

1. 陳情の趣旨令和2年度愛知県による一般廃棄物処理事業実態調査の結果によると、減量化等が進んでいる人口10万人以上（16市）の上位5市が公表されています。

一人一日当たりのごみの排出量の順位1位が江南市（715グラム）、4位が瀬戸市（843グラム）となっています。

市民の皆さんの努力で、他市に比べてもいい位置にいたいと思っております。しかし、一人一日当たりの家庭ごみの燃やす量は、市町村54ありますが40番目台を推移しています。

今年度からプラスチック製容器包装の資源化収集が昨年10月から開始されました。昨年12月分の実績で61トンになり、目標値の75トンにはなりませんでしたが、まだ、3か月の実績ですが市民の皆さんにごみ減量化が浸透し始めたと思っています。

また、ミックスペーパーの回収が軌道にのり、昨年12月分の1か月のデータで、前年度の2倍の64トンになりました。

さらに減量化を推進しようとする大きな課題が横たわっていることがハッキリとしてきています。それは、資源物集積所の位置と数のことで整備を急ぐ必要が求められています。

人口の近い市等の状況を調べますとそのことが良く分かってきました。令和5年度のプラスチック製容器包装の収集見込みを見ますと瀬戸市（人口12万8千人）901トン、半田市（人口11万人）1,263トン春日井市（人口31万人）2,468トン、江南市（約10万人）449トン、小牧市（15万人）2,164トン、稲沢市（11万人）1,530トン等、市によっては、差があることを感じますが相当努力を他市はしています。

分かりやすく月単位で換算をしますと、瀬戸市は：75トン、半田市：105トン、春日井市：205トン、江南市：37トン、小牧市：180トン、稲沢市：127トンになります。

プラスチック製容器包装の資源化収集できる箇所は、半田市：ステーション2,097か所・公共資源回収ステーションも1週から4週までの日曜日



5瀬議陳第 2 号

に公園の1か所で実施（業者委託）、春日井市：ごみステーション約7,400か所、江南市252か所、小牧市：2,098か所・資源回収ステーション（3箇所あり、業者委託で運営）、稲沢市；2,699カ所（可燃置き場で収集）で実施されています。

資源物集積所の拡充にお金も使い、努力しているところは共通をしていますので、そこを学んでいくことが瀬戸市として大切だと思っています。

総務生活委員会の委員の皆さんは、昨年1月の小牧市、江南市の行政視察と10月に半田市にも行かれました。その他に地域の皆さんの懇談会等ごみ減量化に対して勉強や行動をされ、議員としての使命を果たされていることに感謝をしています。

せと・市議会だより（102号）に紹介されています、議員の一般質問でプラスチック製容器包装の収集日を月2回から週1回に増やしましょうという質問に対して、答弁は、収集回数や場所を変更した場合、収集箇所が5倍となり、収集運搬体制の再構築が不可欠となる。また、収集効率の悪化や、経費・作業工程の増加が懸念される。実績を重ねた上で、課題・効果を検証するとともに、市民の皆様、事業者の声を十分に聞き取り、市民の皆様がより出しやすい効果的な収集方法を模索していく（原文）。

私は、この文面を精読しましたが、上記の各市が努力してきた状況を把握・検討をしていないことが分かりました。非常に悲しいことですが、少し立ち入って何か所を指摘しなければなりません。

収集箇所が5倍（約5,000か所）となりますといわれていますが、可燃物の収集か所でプラスチック製容器包装を収集するのかとビックリしています。確かに稲沢市は、可燃物置場で収集していますが2,699か所ですので、何を根拠に答弁をされたか疑問が出ます。

また、収集効率の悪化や、経費・作業工程の増加が懸念されると答弁されていますが、資源物置場が遠いところになれば、車で運ぶことになりまして、高齢者や身体に不調を抱えた人等は歩いて行けないと、近くて出しやすい可燃物置場に足が向きます。収集効率の悪化でなく、資源化が進みますし、経費のかかることを問題でなく、効果的に発揮すればお金の投入を避けては、良い行政サービスはできなくなりますので、行政の発想の転換が必要だと思っています。

さらに、市民の皆さま、事業者の声を十分に聞き取りしていきますと述べられていますが、この1年近く、市民との対話を精力的にしてきて、まだ、聞くことがありますか。まだ、足りないでしょうか。

一昨年、あれだけごみの有料化（10枚・500円）の時に、市民説明会をすることを決ってきた行政の姿勢と大きな違いに違和感を感じています。

こうした瀬戸市の姿勢では、ごみ袋の「有料化ありき」で減量化が進みますが、並行して充実した施策の実施が求められる資源物集積所の拡充が行なわれるか心配をしています。

そこで、委員の皆さんの任期もあと少しと、聞いていますので総務生活委員会の総意に基づいて、2年間の活動の総仕上げをしていただき、ごみ減量化の政策提言の一つに資源物集積所の拡充を入れていただきたいと思いますをお願いします。

2. 陳情事項

資源物集積所の拡充（1,000か所から1,500か所以上）すること。